

Title	編集後記
Sub Title	
Author	村井, 俊雄
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1963
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.56, No.11 (1963. 11)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19631101-0154

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

最近、経済学者が現実の足をつけて思考するというよい傾向が目立っている。都留教授が日本の経済学者を揶揄して、経済学者と呼んだのは遠い昔話のようにさえ思われる。そうして、多くの若い有能な経済学者が現実の政策について活発な発言をしている。恐らく、この中から、経済学がかつて現実の問題に直面して、そのたびごとに内容を増してきたように、美しい果実が経済学に加えられるに違いない。期待してやまない。

しかし、現実を語ることは、音楽でいえば演奏に当るであろう。演奏と作曲とは違う。よき演奏者は必ずしもよき作曲家ではない。その逆も同じである。その両者であることが望ましい。しかし、それは至難のわざである。そのよき一者たることさえも難しいことがある。そこに分業が起る。そうして事はうまく運行する。ところが、流行がある。日本人は流行に弱い。経済学者も中々例外たりえない。大部分の人が日本経済を語る。そこで純粹理論家は激減した。

現在では、経済学者がもう少しいいものではないかと、都留教授におたずねしたいような気がする。

(村井俊雄)

昭和三十八年十一月一日発行

◎三田学会雑誌 第五十六卷 第十一号

定価 一二〇円(送料)

東京都港区芝三田二丁目二番地

慶應義塾経済学会

編集兼 代表者 山本 登

電話三田(41)五一八一
振替口座番号 東京四四〇五六

東京都港区芝三田豊岡町八番地

印刷者 図書印刷株式会社

安倍七郎

半カ年予約購読料(送料共) 七二〇円

一カ年 " " 一四四〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

東京都高輪局区内三田綱町一番地

発売所 慶應通信

振替口座番号 東京一五五四九七